

ミドルマネージャの役割が組織パフォーマンスに与える影響
－戦略的人的資源管理の視点から－

西村孝史（首都大学東京大学院社会科学研究所）

西岡由美（立正大学経営学部）

2015年4月17日

要約

本研究の目的は、戦略的人的資源管理（以下、SHRM）研究の立場から、ミドルマネージャ（以下、ミドル）の役割を明らかにしたうえで、ミドルの役割が組織パフォーマンスに与える影響を検討することである。なお、本研究におけるミドルとは、「現場メンバーを管理している課長クラスの組織長」（35歳から45歳程度の管理職層）を指す。

分析の結果、ミドルの役割のうち情報伝達の役割が財務パフォーマンスに直接的な影響を有することが明らかになった。また、部下育成の役割が、大卒新卒3年以内の離職率低下に寄与することが明らかになった。以上のことから、本研究の理論的なインプリケーションとして（1）ミドルの役割を4つに類型化したうえで、これらと客観的指標を用いて検討した点、（2）これまで並列的、あるいは状況依存的に捉えられることの多かったミドルの役割を階層的に捉えることで、既存研究で指摘されていたミドルの役割間の整合性を図ることができた点を指摘する。

キーワード：ミドルマネージャ、部下育成、情報伝達、階層性、財務パフォーマンス

本ディスカッションペーパーの内容や意見は、全て執筆者の個人的見解であり、所属する機関およびリクルートワークス研究所の見解を示すものではありません。